

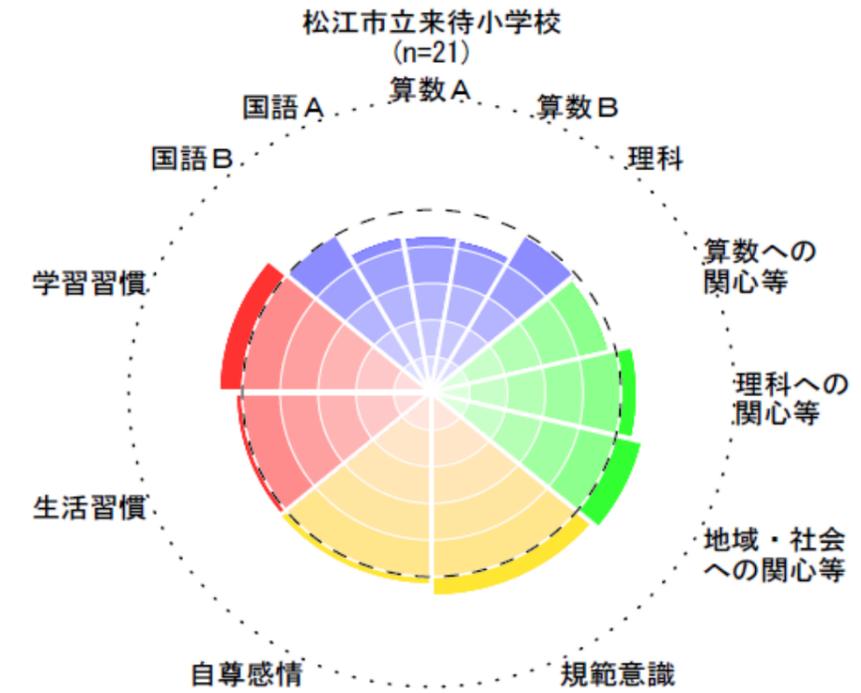
# 平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立来待小学校）

平成30年9月25日

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
国語	A (基礎)	○時間の流れや内容、出来事の順序に着目して文章全体の構成の効果を考えることができ、書く問題の正答率が高い。 ●漢字や慣用句の意味を正しく理解して文中で適切に使ったり、主語と述語、修飾語と被修飾語などの言葉の関係を正しく捉えたりすることに課題がある。	・同音異義語や慣用句の学習で言葉の意味理解を十分に図ったり、主語と述語、修飾語と被修飾語など言葉の関係の学習を繰り返したりする。 ・短作文など、進んで漢字や慣用句を使って書く活動を行うとともに、書いた文章を推敲する習慣をつけるようにする。
	B (活用)	○自分の言葉で自分の考えを書く力が高い。書く問題にねばり強く取り組む姿勢が見られる。 ●たくさんの情報の中から、必要な情報を取り出して答えを導き出すことが難しかったり抵抗があったりする児童が多い。	・新聞記事を読んで見出しをつける活動に週1回取り組み、文章に親しむ機会を増やして、大事な文や言葉を抜き出し要点をまとめることで、長文を読み取る力を伸ばしていく。 ・授業の中で、考えをまとめて書いたり大切な事柄を聞きとったりする場面を意図的に設定する。
算数	A (基礎)	○「量と測定」領域で角度を正しくとらえて求める問題などの正答率が高く、また、無回答の児童も少ない。 ●文章やグラフを読み取って解く問題、「数量関係」「数と計算」領域の問題の正答率が低い。特に、単位量あたりの大きさや割合を求める問題では、無回答の児童が多い。	・「数量関係」「数と計算」については、小数の乗法・除法の計算、単位量あたりの大きさや割合など既習事項を繰り返し復習して定着を図る。 ・児童が、問題の解き方の見通しをもち、図や表、式を言葉と結び付けて自力で解決できるように学習過程を工夫する。
	B (活用)	○生活経験に近い問題がよくできている。様々な経験を児童一人一人がする機会が多いため、問われていることを想像しやすくなっている。 ●既習事項を活用・発展した文章問題に慣れておらず、多くの情報から必要な情報を読み取り、自分の言葉で最後まで説明することができにくい傾向にある。	・算数だけでなく、他教科でも必要な情報を取り出す学習を日常的に取り入れる。 ・個人思考や学習のまとめの場面で、自分の考えを表現したり説明したりする学習を大切に、活用問題にも重点をおいて取り組む。
理科		○自然事象への関心・意欲・態度が高く、「物質」「エネルギー」「地球」の領域の問題の正答率が比較的高い。 ●「生命」領域で、人の体の仕組みについての学習の正答率が低い。	・実験・観察を通じた問題解決型の学習を継続して行う。また、身近な自然とふれ合って自然事象に興味・関心をもつ機会を今後も大切にしておく。 ・定着していない学習内容を中心に復習して、既習事項の定着を図る。

(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



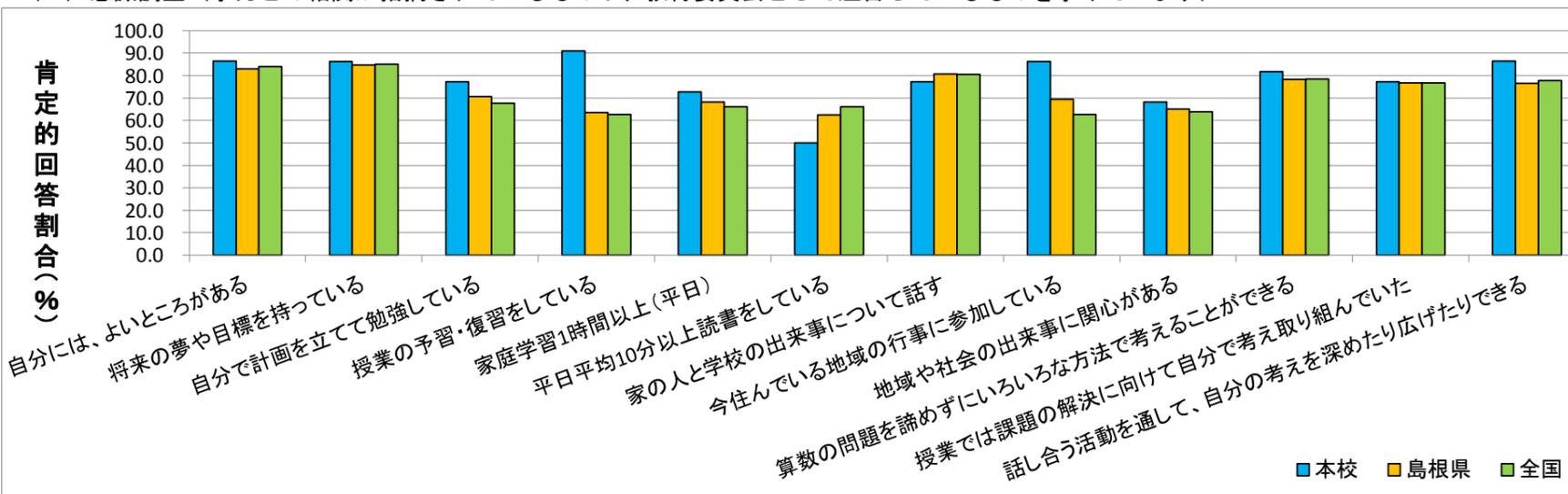
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
		○家庭学習を平日1時間以上行うという家庭学習の習慣は定着しつつあり、自分で計画を立てて予習・復習をし、自主的に学習に取り組んでいる。また、地域の行事に参加したり地域や社会の出来事に関心があったりする児童が多い。 ●学校では読書について様々な取組を行っているが、家庭での読書習慣に課題があり、読書内容についても学年相応の図書を選んでいる児童は少ない。また、地域や社会をよくしようとする思いや考えをもつには至っておらず、受身的な面がある。	・読書の習慣をつけるため、家庭学習の時間とは別に読書時間を位置づけて、家庭での読書時間を増やすようにする。また、教職員作成のポップやブックトークでお薦めの本を紹介し、学年相応の読書内容に近づける。 ・地域での主体的な活動につながるように、特別活動等を通して自主的・主体的な活動ができる場をさらに設定していく。

(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・「いしまるくんタイム」(学力向上のための特設時間)を使ったり、家庭学習の内容をより充実させたりして、算数科を中心とした活用問題や発展問題に積極的に取り組むようにし、追究していく力を育成していく。また、毎月1回実施している漢字・計算大会を継続し、めあてをもって漢字・計算練習に取り組むことができるようにして、基礎・基本の力もつけていく。  
・児童自らが問題を見だし解決していく学習過程を組み、児童が友達と対話しながら「話すこと・聞くこと」のスキルを活かして考えを深めていくことができるよう授業の改善に教職員全員で取り組んでいく。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



【参考】

○平均正答率

		本校	松江市	島根県	全国
国語	A	65	70	68	70.7
	B	54	57	55	54.7
算数	A	57	62	61	63.5
	B	43	50	49	51.5
理科		60	59	58	60.3

受検者数 21人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。